

令和3年度 第1回北広島市食育推進懇談会会議録

日時	令和3年7月15日（木）18時30分～19時50分
会場	保健センター検査室
出席委員	堀昌文委員、鵜沼美恵子委員、長島博子委員、中山敦子委員、牧野沙知子委員、若林公一委員、前田優委員、槌本浩司委員、藤井智子委員
欠席委員	東隆史委員
事務局	水口真副市長、三上勤也保健福祉部長、影久真美健康推進課長、遠藤智農政課長、岡謙一学校給食センター長、槇田美有紀健康推進課主査
傍聴人	なし

1. 開会

2. 選任書の交付

- ・副市長より委員に選任書を交付

3. 副市長挨拶

4. 自己紹介

- ・各委員自己紹介、事務局紹介

5. 座長、副座長の選出

- ・委員の中から事務局に一任したい旨の発言があり、事務局から座長を若林委員、副座長を長島委員とする案を提案し、承認された。
- ・会議の公開について異議なし

6. 議事

(1) 北広島市食育推進計画の概要について

- ・事務局から説明を行った。資料1、資料2、参考資料を基に説明。

国の第4次食育推進基本計画が令和3年3月に策定された。生活習慣病の予防、健康寿命の延伸のために、成人男性の肥満、若い女性のやせ、高齢者の低栄養が全国的に課題であり、解決するために「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」が重点事項の1つ目に掲げられた。また、食品ロスや食料自給率の低下、食の担い手の高齢化等、食を支える社会、環境、文化の視点から

「持続可能な食を支える食育の推進」が2つ目の重点事項となった。さらに、新型コロナウイルスで対面での情報発信が難しい状況のため、ICTを活用し効果的に情報を発信できるよう「新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進」が横断的な重点事項として定められた。当市の食育計画も、国の基本的な方針を踏まえながら策定していく。

- ・各委員が所属している立場で食育に関する意見や課題を共有

子ども達の中には、朝食の欠食、就寝時間の遅れ等生活リズムの乱れがある子がいる。統計的にも幼児と20代女性の朝食欠食率が高く、親の生活習慣が子どもに影響していると考えられる。朝食の欠食のある子は集中力がなかったり疲れやすい傾向にある。

家庭、幼稚園や保育園、学校、地域での食農体験や食に関する学習、子ども食堂、フードドライブ等食を支える環境の取り組みが市内で行われている。

共働きの家族や単身世帯の増加等、ライフスタイルの多様化にあわせて食育を考えていく必要がある。各所属で考える課題を解決できるような次期計画を策定したい。

(2) 計画策定スケジュールについて

- ・事務局から説明を行った。資料3のとおり。

(3) 計画策定に伴うアンケート内容について

- ・事務局から説明を行った。資料4のとおり。
- ・【委員】小中学生の子どもへのアンケートは、前回の計画策定時にも行っているか。
- ・【事務局】前回計画策定時も、小学校2年生、5年生、中学校2年生に行った。

7. その他

- ・次回の懇談会開催は、アンケート集計が終了し計画素案を作成した令和3年12月頃に開催予定。

8. 閉会